



## 馬淵こども園 教育目標

### 自分のまんま

<自分の思いを素直に表現する子ども>

### やさしいっぱい

<相手の思いに気づくやさしい子ども>

### なんでも挑戦 みんなで挑戦

<どんなことでも自らやってみようとする子ども>

# きんぎょこどもえんたより

令和7年（2025年）8月1日  
近江八幡市立馬淵こども園

1学期を終え、4月に入園してきた子ども達も園での生活のリズムがわかり、初めての集団生活を先生や友達と一緒に楽しむことができました。また、進級した子ども達はこれまでの経験や友だちからの刺激で意欲的に遊んだり、友だちとのかかわりが広がったりしました。あいさつを自分からしようとする姿も多く見られるようになり、お家の方の意識が子どもの姿につながっていることを感じます。これからも家庭内や地域で気持ちのよいあいさつが響くことを願っています。子ども達が安全な日々を過ごせるよう、保護者の皆様、地域の皆様には引き続き子ども達の見守りをよろしくお願い致します。



## けんきでね集会

こども園には幼稚園機能を持つ短時部の子どもと保育所機能をもつ長時部の子どもが通ってきています。7月22日から短時部の子ども達は夏休み、長時部の子ども達は夏季保育となり、それぞれの生活が始まることとなるため、保育室の大掃除をしたり、18日には元気でね集会をしました。集会では『早寝・早起き・あさ（あいさつ）・し（食事）・ど（読書）・う（運動）』について暑い夏を元気に過ごせるように話をしたり、防犯について『いかのおすし』（ついて行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる）の約束をしました。今度みんなが揃うのは9月1日です。みんなが元気に揃う日を楽しみにしています。



## 思いっきり楽しんだ夏の遊び！

遮光ネットで日陰を作ったり、ミストをしたりなど対策をしながら毎日のようにビニールプールでの遊びを楽しみました。5歳児は小学校のプールにも入らせていただき、広いプールでのびのびと遊ぶことができ大満足でした。体に絵の具をつけたりするフィンガーペインティングなど夏ならではの遊びを満喫し、開放感を十分に味わいました。



# ★七夕行事を楽しみました★



地域の方が届けてくださった笹竹に天の川や三角つなぎ、織姫、彦星、かわいいお願い事を書いた短冊など子ども達やお家の方と一緒に作った七夕飾りを飾りました。7月7日にはみんなで七夕の集いをし、七夕の由来を聞いた後、異年齢でペアになって七夕フープ電車に乗って遊びました。4、5歳児が3歳児を気になげながらやさしく走る姿に成長を感じました。これからも折にふれ日本の伝統行事に親しんでいきたいと思ひます。



## ひまわりの方との交流



5歳児が千僧供町にある小規模多機能型居宅介護事業所ひまわりさんに七夕の笹をもって訪問しました。道中、川に亀が泳いでいるのを見つけたり、豆を赤く色づけておられる地域の方に出会いお話を聞いたりするなど色々な発見がありました。ひまわりさんでは飾り付けた笹竹をお渡ししたり、一緒に♪たなばたさま♪の歌を歌ったりして交流をしました。いろいろな方と触れ合える機会をこれからも大切にしていきたいと考えています。



## PTA人権教育 学習会

馬淵町の安倍映子先生を講師にお招きし、～幼児期の愛着形成～「愛されて育つ」＝「愛して育てる」と題して、安倍先生の豊富なご経験から子どものありのままを受け止め、愛することの大切さについてお話しくださしました。また、馬淵こども園の教育目標にある『自分のまんま』子どもがそのまんまの自分を出すことが大切であることを聞き、悩んでおられた保護者の方も安心した様子でした。保護者の方々は安倍先生のお話に心を引き寄せられ熱心に聞き入っておられ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

